



## IPビデオはコストセンターから プロフィットセンターへ

ジャパテル CEO  
 佐々木宏至氏

ジャパテル

ジャパテルのCEO佐々木宏至氏は、主に音声系の符号化、PCベースのCTI、プロセッサアップグレードなどのデジタル系開発技術者として数多くの経験と実績を積み重ねてきた。2000年に3G FOMA対応のDVR Supereyesでセキュリティ産業界に参入し、ジェネテック(Genetec)社OMNICASTを日本に紹介している。

ジェネテック社は、カナダのモントリオール市に本社を置くIP映像の先駆者たる企業である。同社の主な製品は、大規模マルチベンダ対応ネットワークカメラ監視ソフトウェアであるOMNICASTを筆頭に、超小型IPナンバープレート読み取りカメラであるAUTOVU、IPアクセスコントロール管理ソフトウェアSYNEGISなどがある。OMNICASTは現在、最大5万台のカメラを管理することができるシステムで、大規模対応については他の追随を許さない最高水準のソリューションを提供している。

ジャパテルは、OMNICASTの製品を核にして、これまでコストセンターとしての位置づけだった映像管理をプロフィットセンターへと移行する提案を広く展開している。事実、アナログシステム中心だったシステムを、アナログ部分を活かしながら最善のIPシステムを構築して、既存の資産を活用しながら最善のソリューションを提供している。また、世界的に普及している。

ジャパテルは、世界有数のセキュリティ企業として、米国ホワイトハウスや世界各地の大都市の市街地全体のセキュリティを受注しているジェネテック社の日本総代理店企業である。ジェネテック社の主力商品の一つが、ネットワークカメラ監視ソフトウェアOMNICASTである。

### 大規模カメラ監視に対応

講演の冒頭、佐々木氏は、OMNICASTが世界各国の都市や大規模施設の監視に活用している事例を紹介した。そして、「OMNICASTは設計段階からハイエンドに照準を合わせて設計されている」と語り、OMNICASTが大規模な監視にも最適であることを強調した。

OMNICASTは、クライアント/サーバで運用しセキュリティ構造を階層化しているなど、最初から大規模な使用に対応したアーキテクチャで設計している。同氏は、このような設計方針を「ITインフラと同じような考え方で設計されている」と表現している。その実力は、50,000カメラ以上のシステムにも対応可能なことで立証できている。他にも、OMNICASTにはソフトウェアで実現している安価なフェイルオーバーやマルチキャストのサポート、スクリプティング(マクロ機能)やSDKによるカスタマイズ性の高さなど、様々な利点を有している。

### アラーム管理の重要性

佐々木氏は、アラーム管理を強化することの利点を「警備品質の向上」と定義している。そして、警備品質の向上が監視システムのランニングコストの劇的な改善につながることを指摘した。

従来のアラーム管理では、ライブ表示をするだけであるため、何らかのイベントの発生時に誰かが確認のために現場に駆けつける必要がある。同氏は、そのような対応を「安全性が保てない、初動対応性が悪い、警備コスト増」と断じている。

ここでOMNICASTの監視画面を表示して、「ドアが開いた」というイベントが発生した時に、その前後の映像を表示する様子を示した。保安

要員が、どの様に何が起きたのかをスクリーンから瞬時に得る事を可能とした。このような機能により監視人員の削減が可能になると説明した。

他にも、アラーム管理の重要性を示す事例をいくつか紹介した。その一つが、ある商店で電気スタンドを販売する時にスタンドの傘部分をPOSで読み取るが、スタンド本体部分の読み取りを忘れることが多発した事例である。これを解決するため、POSとOMNICASTを連繋し、POSで傘を読み取った時はスタンドの確認を促すアラートを出すことで、精算忘れを防ぐことに成功した。

## OMNICASTの3つの信念

佐々木氏は、OMNICASTの基本的

な設計として、「オープンアーキテクチャ」、「メタデータ」、「拡張性(統合)」の3つを挙げた。「オープンアーキテクチャ」に関しては、OMNICASTのソースコードの97%は.Netであり、2009年秋には100%.Net化する予定を明かした。完全に.Netに移行することにより、LinuxやWindows CEでもOMNICASTが動作するようになる。

「メタデータ」とは、映像にどのような内容が映っているかといった対象の特徴を文字化したものだ。OMNICASTはこのようなメタデータ化を行うエンジン内蔵している。

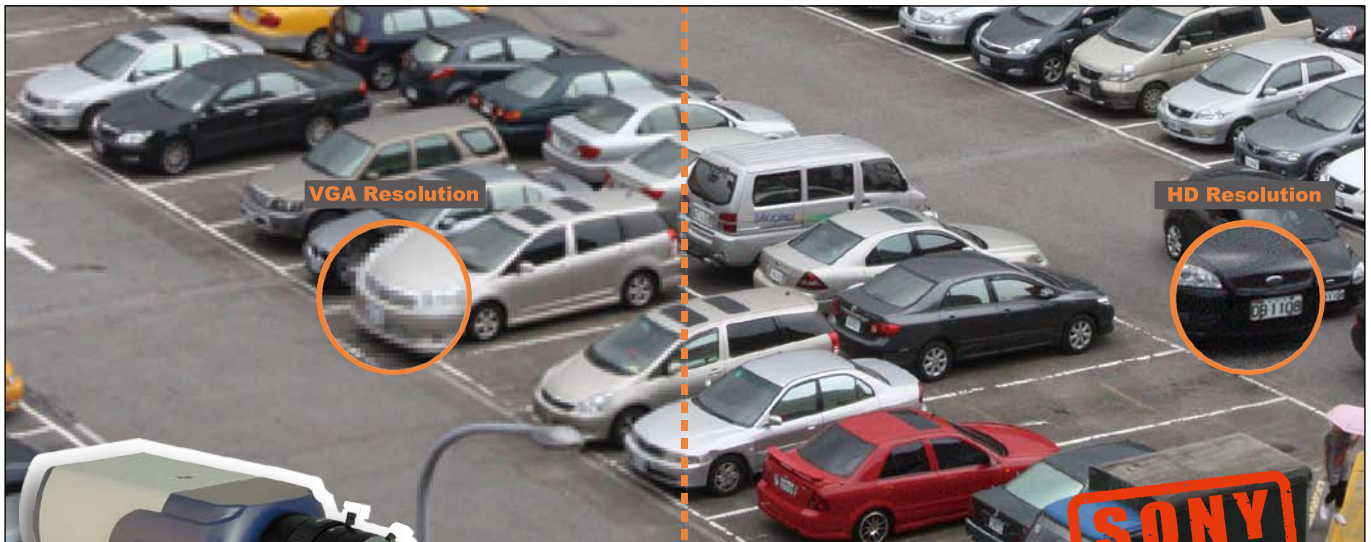
「拡張性(統合)」とは、分散して設置したOMNICASTを統合できるという意味と説明した。これは単にカメラ映像

が見えるだけでなく、イベントやメタデータ、PTZ制御などすべての内容を統合することができることを強調した。

## 遅延なき映像を表示

講演の最後に、佐々木氏はOMNICASTを使用して、大阪オフィスの様子を表示するデモを行った。OMNICASTを実行しているパソコンの通信回線が、それほど高速とはいえないイー・モバイルである。しかしながら、映像を遅延なく表示することができ、OMNICASTが真にリアルタイムな監視を実行できることを示し、会場に詰めかけた聴講者を大いに驚嘆させて講演を締めくくった。

**AMS**



### ネットワーク DynaHawk™ 061 シリーズ HD CCD WDR IP カメラ

- ・ソニー・プログレッシブ・スキャン CCD/CMOSセンサー採用
- ・720pリアルタイム デュアルストリーミングでらくらく配信
- ・H.264, MPEG-4, MJPEGと場面により圧縮方式が選択可能
- ・暗い環境でもデー/ナイトでらくらく撮影
- ・逆光でもリアルタイムWDRで鮮やか
- ・2D / 3Dノイズリダクションで美しい

**SONY  
CCD**  
Watch HD Real-time



HD H.264 IP Camera Family

**DYNACOLOR**  
always watching

DynaColor, INC.  
e-mail: info@dynacolor.com.tw  
http://www.dynacolor.com.tw

DynaColor (USA), INC.  
e-mail: info@dynacolorusa.com  
http://www.dynacolorusa.com

DynaColor (Japan), INC.  
e-mail: info@dynacolor.co.jp  
http://www.dynacolor.co.jp